

平成 30 年度国際学部推薦入試 I 選抜入試 集団討論のための課題文

- 以下の文章は、面接で行われる集団討論のための話題を提供するものです。
- 約 30 分間、この文章を読み、〈問〉に沿って答えてください。この紙にメモを書き込むことができます。
- 面接室に移動するときは、この紙を持って移動してください。
- 面接中もメモを参照したり、メモを取ったりすることができます。
- この紙は面接終了後に回収します。面接員の指示に従ってください。

〈問〉課題文を読んで、以下の設問について考えをまとめてください。

- (1) 本文中の下線部「アフリカのリアリズム」という表現を、どのような意味で筆者は使っていますか。
- (2) カメラマンやジャーナリストなどのように、第三者として他者や他社会を表現することには、どのような意義と課題が考えられますか。自分自身の体験を踏まえてあなたの考えをまとめてください。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(裏面に続く)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(藤原章生『絵はがきにされた少年』集英社、2005年による。)